

世界のバリアフリー絵本展 国際児童図書評議会2009年推薦図書展

Barrier-free Picture Books from Around the World IBBY Outstanding Books for Young People with Disabilities 2009

期間 || 平成 22 年 8 月 21 日(土)~9 月 12 日(日)
場所 || 国際子ども図書館 ホール(3 階)
休館日 || 月曜日、国民の祝日・休日、第3水曜日(資料整理休館日)
時間 || 午前 9 時 30 分~午後 5 時
主催 || 国立国会図書館国際子ども図書館、社団法人日本国際児童図書評議会(<http://www.jbby.org/>)

◎ご利用について

展示資料は会場内で、ご自由に手にとってご覧ください。ご利用後はもとの場所に戻してください。
返却場所がわからない場合はカウンター職員におたずねください。
資料種別に★印のついたCD・DVD等の資料(計6点)は、第二資料室(2階)でご覧いただけます。

◎書誌事項について

No.は、展示資料に表示されている番号に対応しています。
書誌事項は、原則としてJBBY制作の本展キャプションの表記に従って、書名、資料種別、発行国名、著者名、原作、出版・制作、出版年等、解説を掲載し、国立国会図書館所蔵資料には請求記号を掲載しています。
請求記号例: Y17-AZ5707(国際子ども図書館所蔵)、KS171-H393(東京本館所蔵)
東京本館…千代田区永田町1-10-1 国際子ども図書館…台東区上野公園12-49

◎手話付き絵本 / BLISS 記号付き絵本

1≫ 手話ごんぎつね

★CD-ROM 版手話絵本 / 日本

原作=新美南吉『ごん狐』 手話=野田尚子 制作=熊本県聴覚障害者情報提供センター、2007年

☞『ごんぎつね』は、いたずら好きなぎつねの話。CD-ROM 版は、手話映像と音声ナレーションで構成され、難しい言葉には、イラストレーションと手話の解説が付記されている。

2≫ どうぶつたち (「手話と絵本」シリーズ)

手話付き絵本 / イタリア

原題=Animali Animals Animaux Tiere Animales

文=Nauderer, Herbert 絵=Di Domenico, Aldo 出版社=biancoenero edizioni、2007年

☞現代アートの作家が制作したシリーズの1作。動物のイラストレーションには、LIS(イタリア手話)とイタリアで初めて導入された手話筆記、さらに、5つの言語(イタリア語・英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語)で動物の名前が記されている。

3≫ 聞こえない世界からの物語

★手話 DVD 付き絵本 / コロンビア

原題=Palabras desde el silencio 出版社=Centro Cultural Comfandi、2006年

☞聴覚障害がある青年たちによって制作されたアニメーションのような作品。付属のDVDには、音声とコロンビア手話によるナレーションが収録されている。コロンビアでは初の障害がある青少年のための図書。

4≫ すてきなおくりもの (「見るおはなし」シリーズ)

★DVD 版手話絵本(原作絵本つき) / メキシコ

原題=Regalo sorpresa Un cuento en Lengua de Señas Mexicana

原作=Isol 出版社=Enseñame、2008年

☞誕生日が近づいたニノは、プレゼントが気になって仕方がない。当日、わくわくしながら包みを開けると中身は退屈そうな本。ところが、その本に書かれていた冒険は……。アニメーションが、ナレーションと手話で進むため、聴覚障害の有無に関わらず楽しむことができる。原作絵本のほか、聴覚障害がある子どもに読書を促す手引きも付いている。

5≫ かいものに行こう!

手話付き写真絵本 / スウェーデン

原題=Simon går till affären 文=Rehn, Annika 写真=Billeson, Göran 出版社=Landskrona Vision、2007年

☞サイモンが、父親と買い物に出かける日常を描いた写真絵本。シンプルな文と生き生きした写真が、理解を助けている。スウェーデン手話とテキストで構成されている。

6≫ シーメンの月

絵文字付き絵本／ノルウェー

原題=Simen + månen 作者=Kahrs, Heidi B. 出版社=Heidilines、2009年

☞ シーメンは想像力の豊かな少年。月を眺めるのが好きで、夢は宇宙飛行士になって、月をボールにしてサッカーをすること。しかし、現実の試合では1点もゴールを決められない。そんなシーメンに、新しい友だちができて……。読字障害がある青少年のためにBLISS記号を用いて、読みやすく作られた作品。

◎点字付き絵本／さわる絵本／布の絵本

7≫ABC絵本：さわってみて

さわる絵本／インド

原題=ABC: Touch and see 出版社=Dreaming Fingers、2007年

☞ 各ページには大きなさわる絵がある。たとえば「A」のページには、りんごの絵と点字の「a」、隆起印刷の「A」と「a」があり、また「apple」の文字が、点字と太文字の両方で印刷されている。さわる絵にはさまざまな材質が用いられ、美しく、愉快的な印象を与える。だれもが楽しめる作品。

8≫ ナインチェーあそぶ・さわる・きくー絵本

★点字付きさわる絵本／オランダ

原題=De wereld van Nijntje. Een doe-, voel- en luisterboek 原作=ディック・ブルーナ 出版社=Rubinstein、2007年

☞ ナインチェーは世界中で人気のある有名なうさぎ。テキストは点字と太文字、イラストレーションは隆起印刷と手触りの違う素材で表されており、付属のCDには12の短編が収録されている。この作品は、「オランダ読書に障害がある人たちの協会(NLBB)」の協力で出版された。

9≫ クリスマスだいすき！

点字付きさわる絵本／フランス

原題=Vive Noël! 作者=Crozon, Alain 出版社=Les Doigts Qui Rêvent、2006年

原作=Éditions Seuil Jeunesse、1999年

☞ クリスマスの話が、点字と墨字のテキストで描かれ、フラップをめくると、21種類の楽しい「なぞなぞ」があらわれる。フラップには小さな窓があり、さわる絵の一部が見えて「なぞなぞ」のヒントになる。

10≫ うたあそび ことばあそび

さわる絵本／ノルウェー

原題=Vers på tvers 作者=Diesen, Anette 出版社=Solum forlag、2007年

☞ スライドさせたりひっぱったり、手で操作することができる絵とリズムのよい詩でできている。チャレンジしながら理解できる作品。テキストは点字と墨字の両方で印刷されており、視覚障害の有無や程度を問わず楽しめる。

11≫ おやすみのうた

さわる絵本／イラン

原題=Lalai (Lullaby) 作者=Farmani, Zahra 出版社=Children's Book Council of Iran、2008年

再刊=Aida Khosnoodi and Soodabeh Bagheri

☞ 4種類の花と、3匹の実寸大の虫が登場する。右ページには立体的な花や虫、左ページには刺繍で絵が描かれ、子どもが花や虫を識別する手助けになる。最後は、子守唄に包まれて眠りに落ちる人形のもとへ読者を導く。優しい手触りの布で作られており、言語能力と聞き取り能力を向上させる工夫がみられる。それぞれの国の子守唄に変えて読んでほしい作品。

12≫ あおくときいろちゃん

点字付きさわる絵本／フランス

原題=Petit-Bleu et Petit-Jaune 原作者=レオ・レオーニ 出版社=Les Doigts Qui Rêvent、2007年

原作の邦訳=藤田圭雄訳 至光社 **Y18-N04-H85** (国際子ども図書館所蔵) ※日本語版は、さわる絵本仕様になっていません

☞ かぎ針編の異なる編み目を用いて、「あお」と「きいろ」をうまく表現し、視覚障害児にもさわって認識しやすい絵本。絵は抽象的だが、「友情は互いの違いを乗り越える」というメッセージを十分に伝えている。テキストは墨字と点字。

13≫ コチネツラのやまのぼり

点字付きさわる絵本 / フランス

原題=Trotti, trotta, Coccinelle s'en va 作者=Mantacheti, Tiziana 原作=Coccinella va in montagna

出版社=Les Doigts Qui Rêvent、2005年

☞ てんとうむしのコチネツラが、絵の上を動き回る。木を登ったり降りたり、草むらや小石のあいだをジグザグ歩いたり、山頂を目指して丘を登り、最後は丘を下って家へ帰る。さわる絵はコラージュの手法で作られ、テキストには、透明シートに書かれた点字が付いている。だれもが楽しめる作品。

14≫ リノの大冒険

点字付きさわる絵本 / イタリア

原題=Lino il Bruchino 作者=Mantacheti, Tiziana 出版社=Federazione Nazionale delle Istituzioni Pro Ciechi、2008年

☞ 友だちよりも小さく生まれたイモムシのリノは、大冒険を通して沢山の友だちとめぐり会い、世界で一番格好よい立派なイモムシになる。読者がリノに飾りを付けてやることで、リノの冒険を助ける仕掛けになっている。シンプルな参加型のストーリーは、多様性という主題に焦点をあてている。弱視の子どもも識別しやすいグラフィック・フォントと色を用い、テキストには点字も併記されている。

15≫ ヘビとひとりのおとこ

さわる絵本 / ペルー

原題=El hombre y la culebra 作者=Reategui, Rosana 出版社=Story-telling hands、2005年

☞ ペルーの昔話『ヘビとひとりのおとこ』は、自分を食べようとした蛇を助けてやった男の話。布切れに糸を編みこみ刺繍を施すという、ペルーの伝統的な手法(Arpilleria)を用いた布絵本。この作品は、美しいアートとしてだけでなく、ペルーの文化を広め、継承することにも貢献している。

16≫ てん

点字絵本 / アメリカ

原題=The Dot 作者=Reynolds, Peter H. 出版社=BrailleNK、2007年

原作の邦訳=谷川俊太郎訳、あすなろ書房 Y18-N04-H82 (国際子ども図書館所蔵)※日本語版は、点字付きではありません

☞ ワシテは、美術の先生に絵が描けないと訴える。先生はワシテがなぐり書きした「・(てん)」に、サインをするように勧め、そこから、ワシテと芸術との出会いの旅が始まる。原作を忠実に複製したこの作品は、視覚障害の有無に関わらず、音読を楽しむことができるよう工夫されている。各ページの上半分に、原作のテキストと絵が引用され、下半分が短縮点字になっている。

17≫ まゆげのかわいい女の子

★さわる絵本 CD 付 / ノルウェー

原題=Jenta med heilt jamne, mjuke augebryn 文=Sortland, Bjørn 絵=Belsvik, Inger Lise 出版社=Solum forlag、2008年

☞ 目の見えない少年は、勇敢で人気者のクラスメイトをうらやましく思っている。一方、少年は、じっと動かずに眉毛をさわらせてくれるサヤが大好き。戦争が始まったある日、空襲警報が鳴り、みんなは地下防空壕へ逃れた。暗闇の中で、サヤを安心させられる勇敢な者は、目の見えない少年だけだった。イラストレーションはさわる絵になっており、音楽 CD が付いている。

18≫ 手で見える学習絵本「テルミ」

点字雑誌 / 日本

制作=財団法人日本児童教育振興財団、隔月刊

YT111-51(東京本館所蔵、一部国際子ども図書館所蔵)創刊準備号(1983.5)、1巻1号(昭58.9)~

☞ 1983年創刊。以来、隔月で出版されている「テルミ」は、日本で唯一のさわる絵雑誌。全国の視覚特別支援学校(盲学校)の図書館で閲覧が可能で、個人でも購入できる。毎号の人気コーナーは、クイズや迷路、料理のページなど。季節の話題も扱い、視覚障害に関わらず楽しめる内容。

◎やさしく読める図書

19≫ むし

やさしく読める図書 / インドネシア

原題=Insect -Serangga 文=ムルティ・ブナンタ 絵=Yosep, Imelda Rosvita

製作=Murti Bunanta Foundation、2008年

☞ ささまざまな題材をとりあげた「やさしい読み物シリーズ」の1作。詳細に描かれた虫の絵に、インドネシア語と英語

で名前が書かれている。このシリーズは、フィクションとノンフィクションを扱い、障害のある子どもが通う小学校で使用されている。

20≫ パーティーをしよう！

やさしく読める図書 / スウェーデン

原題=Nu är det fest 文=Frii, Kerstin 写真=Andersson, Anita 出版社=Lilla TL、2007年

マイケルは友だちのためにパーティーを開く。みんなが集まって歌ったり踊ったり……。しかし、ちょっとしたことが彼を悩ませる。カラー写真とやさしく読めるテキストが、マイケルの気持ちを豊かに表現している。

21≫ あかちゃんがやってきた

やさしく読める図書(拡大写本) / 日本

制作=ふきのとう文庫(北海道)、1998年

原作=角野栄子文、はたこうしろう絵 福音館書店 Y17-N09-J1105(国際子ども図書館所蔵)

赤ちゃんが生まれることを知らされた少年は、母親と一緒にベビーウェアやベビーベッドを買いに行く。少年は、家族が増えることに複雑な気持ちを抱くが、やがて、自分が双子の女の子の兄になることがわかると、とても幸せな気持ちになる。弱視の子どもも、そうでない子どもと同じような読書ができるように、原作のテキストとイラストレーションを、ボランティア団体が拡大本にした。

22≫ あそぼうね

やさしく読める図書 / イラン

原題=Man ham bazi 文=Khalatbaree, Farideh 絵=Barjesteh, Lisa Jamileh 出版社=Shabaviz、2007年

Y17-AZ5707(国際子ども図書館所蔵)

“I am a ball, soft and light. Throw and catch me, up and down, play with me, till bed time.” 子どもは親と遊ぶのが好き。この作品では、大好きな父親のような大きなぬいぐるみが、からだを滑り台やブランコ、潜り込める洞穴にしたりして、子どもと一緒に遊ぶ。韻を踏んだフレーズを繰り返すことで、理解を助け、読書をサポートしている。

23≫ カスのあたらしい一日

やさしく読める図書 / フィンランド

原題=Kassu vauhdissa 文=Marttinen, Tittamari 絵=Salminen, Aiju 出版社=Pieni karhu、2006年

カスの新しい学校では、おかしなことばかりおこる。机がしゃべったり、犬が飛び出してきたり……。退屈だった学校が楽しくなる。この作品は、難しい表現や複雑な構造を避け、わかりやすさを重視した「Selko-language」で書かれている。重い読字障害や知的障害により読書が困難な子どもや、第2言語を学んでいる人のために制作された作品。

24≫ 八十日間世界一周

★やさしく読める図書 CD付 / イタリア

原題=Il giro del mondo in 80 giorni 作=ジュール・ヴェルヌ 翻訳/編集=Fabrizio Casa

出版社=Biancoenero edizioni、2008年

原作の邦訳=鈴木啓二訳 岩波書店 KR174-G22(東京本館所蔵) ※邦訳版はやさしく読めるように翻案された作品の訳ではありません

ジュール・ヴェルヌの有名な古典『八十日間世界一周』が、当初は読書が困難な子どもを対象にやさしく読めるように翻案された。結果として同じような大人にも適した作品となった。読解を補助するオーディオ・ブック CD が付いている。

◎一般市販図書

25≫ どっちのはなし？

一般市販図書 / カナダ

原題=Did you say Pears? 作=Alda, Arlene 出版社=Tundra Books、2006年

Y17-B11350(国際子ども図書館所蔵)

同じ綴りで違う意味を表す「nails」(くぎ、つめ)や、「pears」と「pairs」のような同音異義語をなぞなぞ形式で楽しく伝えている。言葉の世界が広がっていく写真絵本。

26≫ ひろがることば

一般市販図書 / メキシコ

原題=Palabras para conocer el mundo 文=Fierro, Julieta / Vital, Alberto 絵=Alderete, Jorge ほか

出版社=Santillana、2005年

☞ダブルページの左側には一般的な意味が記され、右側には子どもの好奇心を刺激することば遊びや詩など、楽しいアプローチで言葉の世界を広げている。カラフルなイラストレーションや写真を多用した3~7歳向けの辞書

27≫ ともだち

一般市販図書／イラン

原題=Do dust 作=Haddadi, Hoda 出版社=Shabaviz、2008年

☞雨あがりのハーブが甘く香るジャングルで、2人の少女が出会う。ジャングルは、朝から夜へ……、水たまりは海に、太陽は大きな桃のように変化していく。風景の変化が、葉っぱや薄紙、種や花を使った見て楽しいコラージュと、イラストレーションのような動きのあるテキストで表現されている。

28≫ てんとうむしとちょう

一般市販図書／インド

原題=Ladybird and Butterfly 文=マノラマ・ジャファ 絵=Sarkar, Sanjay 出版社=Khaas Kitaab、2007年

☞のどが渴いたてんとうむしが水をさがしていると、ちょうがやってきて、丘の向こうの泉のことを教えてくれる。てんとうむしは泉をめざすが、丘が急なので諦めようとする。ちょうがてんとうむしを励ますと、「できるわ、やってみせる！ できるわ、やってみせる！」と掛け声をかけてもう一度歩きはじめ、ついにおいしい水を手に入れる。魅力的な小さな絵が、友情と忍耐を教えている。

29≫ なにを食べる？

一般市販図書／カナダ

原題=Eats 文=Jocelyn, Marthe 絵=Slaughter, Tom 出版社=Tundra Books、2007年

Y17-B11351(国際子ども図書館所蔵)

☞きりんは何を食べるか？ かえるは？ 白くまは？ パンダは？ さまざまな生物の食べ物が、シンプルなイラストレーションが原色で描かれている。さて、アイスクリームを食べるのは誰？

30≫ こわいけど好き！

一般市販図書／イラン

原題=Man az to nemi tarsam 文=Khalatbaree, Farideh 絵=Barjesteh, Lisa Jamileh 出版社=Shavabiz、2007年

Y17-AZ5653(国際子ども図書館所蔵)

☞「あなたは魔法使い。あなたがいないと、おとぎ話は始まりません。」子どもが怖がるものはたくさんあるが、怖いものには怖い理由が必ずある。真実だろうと想像だろうと、大人の教え方次第で子どもは怖さを感じる。悪くて怖いものも善い面があることを、詩と絵で伝える絵本。

31≫ いろんないろ

一般市販図書／スウェーデン

原題=En dag med färg作=Lepp, Mati 出版社=Bonnier Carlsen Bokförlag、2008年

☞小さな子どもが日々の生活で出会う物や色をしてくれるカードボード絵本。太陽は黄色、牛乳は白、ティディ・ベアは茶色……。シンプルな絵と、鮮やかな色使い。本に不慣れな読者が取り扱うことを考慮して、耐久性の高い紙を使用している。

32≫ カモメ山のヨナタン

障害児者が描かれている図書／スウェーデン

原題=Jonatan på Måsberget 作=Ahlbom, Jens 出版社=Penndraget、2008年

☞ヨナタンはみんなと違って、生まれつき羽がない。彼の住む世界は岩だらけで、移動するには羽が必要。幼い頃は、父親におぶられて移動できたが、体が大きくなってからは、ひとり家の中で、友だちが学校へ飛んでいくのを見送る日々。ある時、友だちが素晴らしいアイデアを思いついた！ この話は、障害がある人々の行動を、社会がいかに妨げているかを示している。

33≫ おしゃべり鳥としずかな少女

障害児者が描かれている図書／イラン

原題=Dokhtai saket ba parandehaye choloog

文=Akbarpoor, Ahmad 絵=Manoochehri, Maneli 出版社=Elmi-Farhangi Publishers、2007年

☞5歳のゴルネッサは話すことができない。鳥が大好きで、沢山の鳥の友だちがいる。ある日、賢者に「鳥の卵を食べれば声が出るようになる」と言われるが……。作品の中で、ゴルネッサは平和の象徴であり、人間と自然とを

ひとつにした存在を意味する。画家は、イランの伝統的な色彩と技法でゴルネッサの心を巧みに表現している。話せないことは制限ではなく、心で対話することで相手とつながっていることを教えている。

34≫ ベンジャミンを待ちながら

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=Waiting for Benjamin 文=Altman, Alexandra Jessup 絵=Keeter, Susan 出版社=Albert Whitman, 2008年

Y17-R845-B11364(国際子ども図書館所蔵)

☞ 弟のベンジャミンは、兄のアレキサンダーとは遊ばずに、いつも壁ばかり見つめている。話をする代わりに、指をくねらせ、からだを前後へ揺らす。アレキサンダーは、弟のことで、がっかりしたりやきもきしたりするが、時間が経つにつれ、ベンジャミンが、「ただの弟」でなく、「友だち」でもあることに気付く。

35≫ カーチャのバレエシューズ

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=Dancing with Katya 文=Chaconas, Doris 絵=Bergum, Constance R. 出版社=Peachtree Publishers, 2006年

Y17-B11398(国際子ども図書館所蔵)

☞ 主人公は昔の思い出を語る。幼い頃、彼女は妹のカーチャと、農場の野原で踊って過ごした。しかし、カーチャは5歳の時にポリオにかかり、病気が治ってからも左脚は曲がったままだった。ふたりは、カーチャが自分の脚で立って、再び一緒に踊れることを夢見る。ある日、カーチャは治療のために町を離れる。カーチャはもう一度踊ることができるのだろうか？

36≫ アナとナタリー

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=Anna and Natalie 文=Cole, Barbara H. 絵=Himler, Ronald 出版社=Star Bright Books, 2007年

☞ アナは、学校の楽しい活動に選ばることがない。選ばれるのは、スペリングやら何やらのつまらないことだけ。しかし、チャンスが巡ってくる。次のスペリング大会の優勝者は、アーリントン国立墓地で行われる無名戦士への献花式に参加することができるのだ。アナは大会で優勝するために、祖父に助言を求める。ストーリーは、主人公の障害には触れずに展開する。

37≫ ロンドン・アイの秘密

障害児者が描かれている図書／イギリス

原題=The London Eye Mystery 作=Dowd, Siobhan 出版社=Random House, 2008年

☞ 12歳のテッドと姉のカット、いとこのサリームは、ロンドン・アイと呼ばれる観覧車のチケットを手に入れる。アスペルガー症候群という障害があるテッドは、狭いところに入れないため、サリームが乗ることに。ところがサリームが戻ってこない。テッドは、自分の障害を利用してサリームを救おうと試みる。面白いストーリー展開の中で、友だちと違うことがいかに孤独であるかを伝えている。

38≫ ミスターPと共に

障害児者が描かれている図書／オランダ

原題=A visit from Mr. P 作=Hazelhoff, Veronica 出版社=Querido, 2006年

Y8-B8150(国際子ども図書館所蔵、Bezoek van Mister P)

☞ ジョジョはリウマチで足がうまく使えない。痛み(ペイン=ミスターP)はジョジョをいつも苦しめる。ミスターPのせいで、サッカーをすることもだんだんと困難になっていく。ある日、ジョジョは政治難民のレナに出会う。レナは、ジョジョをかわいそうな障害のある少年として接することはしない。身体的・精神的な痛みが与える影響と、それを乗り越えようとする少年の物語。

39≫ 見えなくてもだいじょうぶ?

障害児者が描かれている図書／オーストリア

原題=Wir verstehen uns blind 文=Huainigg, Franz-Joseph 絵=Ballhaus, Verena 出版社=Annette Betz Verlag,

Y17AT-B4448(国際子ども図書館所蔵)

2005年 原作の邦訳=ささきたづこ訳、あかね書房 Y18-N05-H163(国際子ども図書館所蔵)

☞ 両親と買い物に出かけたカーラは迷子になる。誰も、泣いているカーラに気をとめないが、犬を連れて若い男、マティアスだけは彼女を助けようとする。しかし、カーラは、彼の目が見えないことに気付き、困惑する。目の見えない人がどうやって両親を見つけるのだろうか？ ショッピング・センターで過ごす午後のおいだに、カーラは多くのことを学ぶ。

40≫ ちゃっかり目

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=My Travelin' Eye 作=Kostecki-Shaw, Jenny Sue 出版社=Henry Holt and Company、2008年

Y17-B11360(国際子ども図書館所蔵)

☞ ジェニー・スーは斜視で弱視。「ガチャ目」と呼ぶ人もいるが、彼女は「ちゃっかり目」と呼ぶことにしている。パッチ(眼帯)で片目を覆ったジェニー・スーは、学校で笑われるが、素敵なデザインのおしゃれな「ファッション・パッチ」を作ること、クラスメイトの羨望の的になる。作者の実体験に基づき、弱視者が見る世界を、コラージュ技法で表現している。

41≫ たのしいこと だいすき

障害児者が描かれている図書／スペイン

原題=Me gusta divertirme / I like to have fun 文=Laván, Laila 絵=Rodriguez, Abigail 出版社=Topka Books、2007年

☞ 初歩的な語彙と世界の多様性を学び始めるための2カ国語で書かれたボードブック・シリーズ。さまざまな人種の子どもたちが、障害の有無に関わらず、自分のいちばん好きなことをしているカラー写真が特徴的。

42≫ ルーシー、大きな声でね

障害児者が描かれている図書／スペイン

原題=Lucia: alto y claro / Lucy: loud and clear 文=Laván, Laila 絵=Iglesias, Beatriz 出版社=Topka Books、2007年

☞ ルーシーが兄のオマールに鉛筆を貸してから、3日と4時間と16分が経つ。ルーシーは鉛筆を返してもらいたいが、聴覚障害のあるルーシーは、兄の注意をひくことができない。最後にルーシーは、彼女にしかできない方法で兄を負かす。スペイン語と英語のバイリンガル絵本。

43≫ ルール！

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=Rules 作=シンシア・ロード 出版社=Scholastic Press、2006年 Y8-B6727(国際子ども図書館所蔵)

邦訳版=おひかゆうこ訳、主婦の友社 Y9-N09-J24(国際子ども図書館所蔵)

☞ 両親が働いている間、キャサリンは家で、自閉症の弟の面倒をみる。キャサリンは、弟の恥ずかしい行動を隠そうと、「普通」でいることを教えるために、さまざまなルールを作る。ある日、キャサリンは、肢体不自由で会話にはカードを使うジェイソンと友だちになる。ジェイソンは彼女をダンスに誘うが、キャサリンは彼を恥ずかしく思う自分の嫌な部分に気付く。物語の最後に、キャサリンは「普通」の本当の意味を自分に問いかける。

44≫ たびだち

障害児者が描かれている図書／エジプト

原題=Ash-Shajrah At-taybah 文=Mills, Joyce C. 絵=Pillo, Cary 出版社=Nahdet Misr、2006年

Y17-B11407(国際子ども図書館所蔵)

☞ 病気に打ち勝つことが出来そうにない子どもや、その友だちのために作られた優しくて感動的な話。愛情や思いやりを伝えるだけでなく、不信感や怒り、悲しみといった感情に向き合うための助けとなる。巻末には、死とどう対峙すればよいか記された「両親へのメッセージ」が載っている。

45≫ ゾーイの大冒険

障害児者が描かれている図書／カナダ

原題=Zoe's Extraordinary Holiday Adventures 作=Minaki, Christina 出版社=Second Story Press、2007年

☞ ゾーイは日々の生活におおむね満足している。家族は素敵だし、ヘルパーであり親友でもある素晴らしい犬もいる。しかし、時々自分の人生つまらないと思う。学校の友だちは、ゾーイが思うように体を動かさないことを理由に、彼女が賢くないと決めつける。ある時、ゾーイは、クラスメイトたちが、それぞれ違う文化を持っていることに気づき、「異なる」のは自分だけではないことを知る。

46≫ 歩く

障害児者が描かれている図書／アメリカ

原題=Small steps 作=ルイス・サッカー 出版社=Delacorte Press、2006年 Y8-B6514(国際子ども図書館所蔵)

邦訳版=金原瑞人、西田登訳 講談社 KS171-H393(東京本館所蔵)

☞ 〈不愉快なヤツ〉と呼ばれるセオドアは、人生をやり直そうとする。学校へ通い、得意な穴掘りを活かして庭師として働き、初めて恋もする。全てが順調だったが、かつての悪い仲間が、再び彼を悪事に誘う。誰もが、セオドアが道を踏み外すと考えたが、脳性麻痺の小さな隣人ジニーだけは彼を信じる。生まれて初めて他人から信頼されたセオドアは、ジニーと共に小さな一歩を踏み出す。

47≫ ぼくのニナ

障害児者が描かれている図書 / スロヴェニア

原題=Moja Nina 作=Vidmar, Janja 出版社=Založba Mladika 2004

☞ ニナは14歳。でも9歳のティムの「妹」なのだ。ニナは電車が大好きで、母親は、ニナが電車を見ることで自由を感じているだけだと思っていた。しかし、ニナは、みんなと同じになるために旅に出たいと考えていた。ある日、ティムは、ニナのために、ニナを特別支援学校から連れ出し駅へ向かう。しかし、人びとで混雑する駅で、ニナは恐ろしさから発作を起こしてしまう。

48≫ とともに美しく

障害児者が描かれている図書 / アメリカ

原題=Pretty like us 作=Williams, Carol Lynch 出版社=Peachtree Publishers、2008年

☞ 恥ずかしがりやのビューティは、名前(ビューティ=美人)で呼ばれることがいやでたまらない。母親と祖母は、「美しさはふるまいから」と教えるのだが……。ある日、プロジェクトリアという奇病をもった子どもが転入してくる。ビューティは、どう接するべきか思い悩む。ビューティが心を感じたことを口にすると、初めてクラスメイトが、ビューティに注目する。

49≫ 花を育む少年

障害児者が描かれている図書 / カナダ

原題=Des fleurs pour Angéline オリジナルタイトル=The boy who grew flowers 文=Wojtowicz, Jen

絵=Adams, Steve 仏語訳=Duchesne, Christiane 出版社=Dominique et compagnie、2006年

☞ リカウドとその家族は、村から遠く離れた山沿いに住んでいる。村の人たちはリカウド一家の噂話ばかり。「祖母は狼に育てられ、叔父はガラガラ蛇を飼いならし、そして、リカウドは満月の夜に体中から花を生やすらしい……。」作家は、「違い」が美しさを生み出すということ、ユーモアを交えて表現している。

50≫ アポレイキのリンゴ

障害児者が描かれている図書 / ポーランド

原題=Jablko Apoleiki 作=Wróblewska, Beata 出版社=Stentor Publishing House、2007年

☞ カーシア、ヨシーク、オラの兄妹は、小さな町へ引っ越してきた。ふたりの姉妹は、それぞれ新しい環境に適応しようとするが、自閉症のヨシークにとっては難しい。題名の『アポレイキのリンゴ』は、ロバに変えられてしまった王子が魔法のリンゴで人間に戻るというポーランドの昔話を元になっている。新しい町は、ヨシークのことを受け入れない雰囲気がある。でも、ヨシークには魔法のリンゴがない……。

■参考出品 《ふきのとう文庫》の本

1≫ 布の本『だれのうち?』 手作り布の絵本 No.13

2≫ 布の本『いないいないばあ』

原作絵本『いないいないばあ』 松谷みよ子文、瀬川康男絵 童心社、1981年

Y17-M97-47 (国際子ども図書館所蔵)

3≫ 布の本『わっ』

4≫ 布の本『おかあさん』

5≫ 拡大写本『ペカンの木のぼったよ』

原作絵本『ペカンの木のぼったよ』 青木道代ぶん、浜田桂子え 福音館書店、2004年

Y17-N04-H367 (国際子ども図書館所蔵)

6≫ 拡大写本『よこしまくん』

原作絵本『よこしまくん』 大森裕子著 偕成社、2002年 KC482-H481(東京本館所蔵)

7≫ 拡大写本『ポッポとプップ』

原作絵本『ポッポとプップ』 ふなざきよしひこさくえ 童心社、1991年 Y18-6176(国際子ども図書館所蔵)

関連小展示のご案内

◆世界を知るへや〔1階〕 ※どなたでもご利用になれます。

内容=子ども向けのバリアフリー絵本や読み物、知識の本を展示します。

◆第一資料室〔2階〕 ※18歳以上の方はどなたでもご利用になれます。日曜日は閉室です。

内容=バリアフリー資料の関連書を展示します。

◆第二資料室〔2階〕 ※18歳以上の方はどなたでもご利用になれます。日曜日は閉室です。

内容=日本語に翻訳されていないバリアフリー関連洋書を展示します。

